

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス GATE		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 明治33年1月9日
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所のスペースの広さと、運動ができるスペースや活動ができる場所など環境を色々と変えることで視覚的にも意識の変化を促せる環境。	部屋の移動や、遊具のアタッチメントの交換などで切り替えができるように促している。	
2	同法人の児童クラブ等、連携がとりやすい環境がある。	児童クラブでの行動なども伺い、事業所間で話し合っ、なるべく同じように支援できるように話し合うことを行っている。	児童によっては、訪問支援なども取り入れてさらなる連携を充実できればと思う。
3	児童発達支援事業と連続して支援していることで、進学して児童になっても続けて支援することができる環境にあること。	担当の児発管がなるべく変わらないようにしていく。児発管の変更があっても同じように支援しているため、情報の共有は十分にできるように意識している。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動へのご家族や地域の参加という課題がなかなか進展していないこと。	限られた時間の中でご家族の参加するタイミングという部分が難しい。ご家族のご理解が得られるプログラムやそのタイミングなど検討して、ご家族様のご了承を得て、など段階を踏んで行う必要がある。	活動の中で、ご家族様へのアプローチをどういった方法で行っていただければ良いかも併せて検討をする。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス GATE		公表日		令和8年2月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1		
関係機関 関係 保護者との 連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		相談員さんとの共有は出来ているが、以前の保育所とはまだまだ難しい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3		学校卒業の子がまだいない。現在のところ対象児はおりませんが、今後適宜対応していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		連携はとれるようになってきているが、交流は出来ていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		適宜対応していきます。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：

事業所名：放課後等デイサービス GATE

対象人数（保護者）32人 回答者数 16人 回収 50%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整 備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	16				大変広く、色々な発達を促す遊具が あります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2		2	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環 境になっていると思いますか。また、事業所の設備 等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝 達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、こども達の活動に合わ せた空間となっていると思いますか。	16				身体を動かせる場所、落ち着いて過 ごせる場所、調理体験できる場所と それぞれの活動に合わせての空間が あると思います。
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思いま すか。	14	2			無理強いせず、本人の意思を聞いて くださっているのが分かります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の 提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニー ズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイ サービス計画（個別支援計画）が作成されていると 思いますか。	14	2			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサー ビスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供 すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移 行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な 項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内 容が設定されていると思いますか。	13	3			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われて いると思いますか。	16				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思いますか。	13	1		2	様々なプログラムが用意されてい て、びっくりするほどです。いつも よく考えていただきありがとうございます。 いつも色々工夫をしてくださってい る。

	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	5	2	5	クラブなどはわからないのですが、夏に同じ系列の保育園に行きプールを借りているのは知っています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1			丁寧に説明して頂きました。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2	5	5	ぜひ、研修会などがあるなら参加したいです。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	2			日々しっかりとフィードバックをいただいています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2		2	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	6	7	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2	1	1	何か相談がある際は大変スピード感を持って対応していただいています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	2			1 帰りの送迎はあえてないのですが、LINEやHUGでやりとりできていると思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15		1		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1		1		
非常	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	3		1	説明を受けたのですが、訓練をしているか分からないため。

時 等 の 対 応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			3	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	2		1	
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16				自分の居場所。安心できる場所だと思って通所させていただいています。 エネルギーをここでチャージし、癒されています。 乗り気がない時でも本人のペースで参加させて下さるので助かります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16				楽しいと毎回言っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1			いつも楽しそうにデイに通わせて頂き、毎回丁寧な報告も頂き大変助かっております。成長がゆっくりなので、向上してるかはまだ成果は出ておりませんがゆっくり成長を待ちたいと思います。 いつもありがとうございます。 助かります。 本当にいつもありがとうございます。

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。